読書の家から

あぶた読書の家　（☎ 76-2100）
［時間］10 時～ 16 時 20 分　［休館日］木曜日、祝日
みずうみ読書の家　（☎ 75-4702）
［時間］10 時～ 15 時　［休館日］木曜日、祝日
洞爺総合センター図書室　（☎ 82-5111）
［時間］9時～ 16 時 30 分　［休館日］なし

今月の1冊

森のネズミのてんらん会

岡野薫子作／上条滝子絵

山荘に遊びにきた女の子と、森のネズミたちがてんらん会をひらきます。森のなかでは、ヒメネズミたちが、たのしそうに歌をうたいながら、作品づくり。森のネズミの美術館でひらかれる、おもしろいお話です。（あぶた読書の家所蔵）

新刊案内

■あぶた読書の家
＜一　般＞▽利尻・礼文　花と自然の二島物語（仙田美野里・宮本誠一郎）▽秘密のストックレシピ（白崎裕子）▽てんげんつう（畠中恵）▽月人壮士（澤田瞳子）▽幻夏（太田愛）▽ノーサイド・ゲーム（池井戸潤）▽我らが少女A（高村薫）▽とむらい屋颯太（梶よう子）
＜児童書＞▽まいにちがプレゼント（いもとようこ）▽れいぞうこのおくのおく（うえだしげこ）▽ぼくのおふろ（鈴木のりたけ）▽ぼくのトイレ（鈴木のりたけ）▽ぼくのふとん（鈴木のりたけ）

■みずうみ読書の家
＜一　般＞▽旧友再会（重松清）▽緋の河（桜木柴乃）▽宝島（真藤順丈）▽マジカルグランマ（柚木麻子）▽平場の月（朝倉かすみ）▽トリニティ（窪美澄）▽流星コーリング（河邉徹）▽この橋をわたって（新井素子）
＜児童書＞▽ルビとしっぽの秘密　本屋のルビねこ（野中柊著／松本圭以子絵）▽それでもがんばる！どんまいな犬と猫図鑑（今泉忠明）▽まんがでわかる偉人伝　日本を動かした312人（よだひでき）▽5秒後に意外な結末　パンドラの赤い箱（桃戸ハル著／usi絵）

■洞爺総合センター図書室
＜一　般＞▽Red（島本理生）▽怪物の木こり（倉井眉介）▽光まで5分（桜木柴乃）
＜児童書＞▽1ねん1くみの1にち（川島敏生）▽めんたべよう！（小西英子）▽もったいないばあさん　かわをゆく（真珠まりこ）

絵本の玉手箱　10月のおはなし会
■**日　時**　①10月18日（金）14時～15時30分②10月14日（月）・11月4日（月）10時～11時30分
■**場　所**　①あぶた読書の家②あぶた母と子の館
■**問合せ**　佐藤（☎ 76-2487）
ピノキオの会　読み聞かせ
■**日　時**　10月25日（金）14時40分～15時10分
■**場　所**　あぶた読書の家
■**問合せ**　松本（☎ 76-2613）

地域おこし協力隊通信 vol.19

今月のリポーター
平岡龍さん

私が洞爺湖町に来て1年が経ちました。この町にも少しずつ慣れてきたという実感もあります。

私は道の駅あぷたで販売推進などを行っていて、洞爺湖町のおいしい食べ物や素晴らしいものを地元の人や観光客に伝えています。

関西に住んでいたときは、食べ物の旬を特に意識したことはありませんでした。スーパーで買い物するときは旬を気にせず年中売っている品物を買い、外食するときも季節を意識したことはなかったです。

洞爺湖町でこの仕事に携わるようになってからは、食べ物の旬と、地産地消を強く意識するようになりました。旬の食べ物がおいしいのはもちろんのことですが、味だけではなく情緒があるものだと思います。今まで失っていたものを再発見できたようでうれしいかぎりです。

これからは実りの秋、収穫の秋を迎え、新米の他にもたくさんの旬の食べ物が出てくるので、私もできる限り食べてみようと思います。この1年で洞爺湖町でしかとれないものや有名なものをいろいろ知ることができました。そういった知識を身につけると自然と食材もおいしく感じてきます。

私は地域おこし協力隊として、これからも来店されるお客さんに、洞爺湖町の食べ物や旬の味覚のおいしさと大切さを伝えていきたいです。